令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立 義務教育学校玉湯学園前期課程】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○すべての領域・内容において、県内の平均値を上回っている。 ○記述式の問題の無回答率が県内・全国と比べて低く、難易度の高い課題にも自分なりに取り組もうとしている。	・情報から要点を見つけたり、複数の資料のから情報を読み取ったりして、自分の考えを表現する場面を増やす。
	課題	●目的に応じて必要な情報を見つけたり、複数の情報を関連付ける問題の正答率は低かった。	
算数	成果	○すべての領域・内容において、県内の平均値を上回っている。 ○特に図形、データの活用の正答率が高い。	・図を活用して、割合の関係を正しく理解できるような授業づくりをする。 ・既習事項を確認して学習を進めたり、特に分数などの単元では、具体物を使い視覚的にも捉えられるように配慮する。
	課題	●異分母の大小を判断し、理由を記述する問題の平均正答率は低かった。 ●単位量あたりの大きさ、割合の問題につまづきが見られた。	

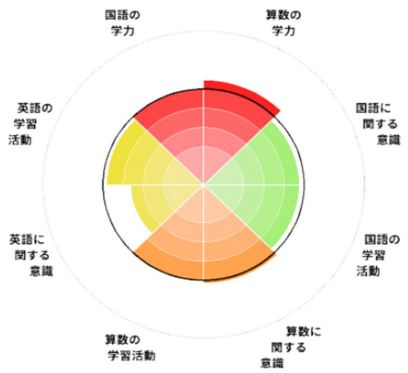
(2)質問紙調査から見られた傾向

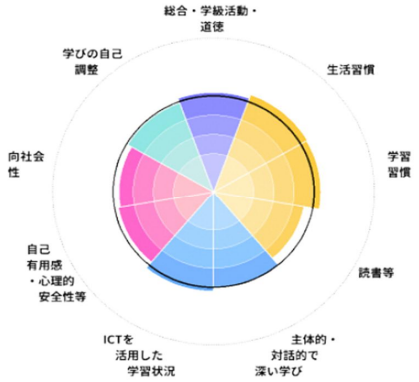
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○ICTを活用する力が身に付いているという意識がある。 ○授業や総合の学習などで、自分で課題を立てたり、課題解決に向けて取り組んだりしている割合が高い。	・ICTを活用する際に、正しく情報を集めたり、整理したりする力を身に付けられるような情報教育をする。 ・多様な職業を紹介することを通して、将来の見通しをもたせたり、選択肢を広げたりする。
	課題	●自分にはよいところがあると思う割合と、将来の夢や目標もっている割合が低い。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・一人一人が自分の考えを持つことを大切にしながら、伝え合う場面を作り学びを深められるようにする。 ・各学年、各教科の系統性を意識し授業づくりを行っていく。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)





【受検者数】

89 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

